

件名：中国における鳥インフルエンザA（H7N9）のヒト感染例の状況（家禽との直接接触は避けてください。）（その23）

平成30年1月31日

在瀋陽総領事館

【ポイント】

- 中国国内では、鳥インフルエンザA（H7N9）のヒト感染例の状況が発表されています。生きた鳥を扱う市場や家禽飼育場への立入を避けるなど、引き続き予防に心がけてください。

1. 中国における鳥インフルエンザA（H7N9）のヒト感染症例

中国の国家衛生・計画生育委員会（NHFPIC）は、2017年1月以降2017年12月までの鳥インフルエンザA（H7N9）のヒト感染例の報告数を次のとおり発表しています。中国ではこれまでに多くの感染例が報告されており、例年冬期に流行しますので、以下2（3）を参考に引き続き予防に心がけてください。

2017年	1月	感染者報告数	192例	うち死亡	79人
	2月	感染者報告数	160例	うち死亡	61人
	3月	感染者報告数	96例	うち死亡	47人
	4月	感染者報告数	81例	うち死亡	24人
	5月	感染者報告数	72例	うち死亡	37人
	6月	感染者報告数	35例	うち死亡	13人
	7月	感染者報告数	2例	うち死亡	2人
	8月	感染者報告数	5例	うち死亡	5人
	9月	感染者報告数	2例	うち死亡	0人
	10月	感染者報告数	0例	うち死亡	0人
	11月	感染者報告数	1例	うち死亡	1人
	12月	感染者報告数	0例	うち死亡	0例

## 2. 鳥インフルエンザA（H7N9）について

### （1）症状

これまで海外で報告された情報によると、多くの患者に発熱や咳、息切れ等の症状が見られたことに加え、重症の肺炎に発展し、中には死に至るケースが見られました。ただし、この病気の詳細はまだ分かっていません。

### （2）感染源

現時点において感染源は不明ですが、鳥インフルエンザにかかった鳥の羽や粉末状になったフンを吸い込んだり、その鳥のフンや内臓に触れてウイルスに汚染された手から鼻へウイルスが入るなど、人の体内に大量のウイルスが入ってしまった場合に、ごくまれに感染すると考えられています。ヒトからヒトへの持続的な感染は確認されていません。

### （3）予防

鳥インフルエンザA（H7N9）に対する一般的な予防策は以下のとおりです。

- 休息、栄養を十分に取り、体に抵抗力をつける。
- 手指等の衛生保持に心掛ける。
- 咳やくしゃみの症状がある患者とは、可能な限り濃厚接触を避ける。
- 温度の変化と乾燥しすぎに注意する。
- 高熱、咳、呼吸困難等の症状が見られた時は、適切なタイミングで専門医の診断を受ける。

また、鳥インフルエンザA（H7N9）の特徴及び上記に追加する具体的予防策は以下のとおりです。

- 生きた鳥を扱う市場や家禽飼育場への立入を避ける。
- 死んだ鳥や放し飼いの家禽との接触を避ける。
- 鳥の排泄物に汚染された物との接触を避ける。
- 手洗い、うがいにつとめ、衛生管理を心がける。

●外出する場合には、人混みは出来るだけ避け、人混みではマスクをする等の対策を心がける。

#### (4) 発生地域からの帰国時・帰国後の対応

帰国時に発熱、咳、のどの痛みなどの症状がある場合には、検疫所の健康相談室に申し出てください。また、帰国後10日以内にこれらの症状が出た場合には、速やかに最寄りの医療機関を受診し、発生地域に渡航・滞在していたことを伝えてください。

3. 海外渡航の際には万一来るに備え、家族や友人、職場等に日程や渡航先での連絡先を伝えておくようにしてください。

3か月以上滞在する方は、大使館又は総領事館が緊急時の連絡先を確認できるよう、必ず在留届を提出してください。( <https://www.ezairyu.mofa.go.jp/RRnet> )

3か月未満の旅行や出張などの際には、渡航先の最新安全情報や、緊急時の大使館又は総領事館からの連絡を受け取ることができるよう、外務省海外旅行登録「たびレジ」に登録してください。( <https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/> )

(参考情報) 内閣官房 (新型インフルエンザ等対策)

[http://www.cas.go.jp/jp/influenza/about\\_h7n9.html](http://www.cas.go.jp/jp/influenza/about_h7n9.html)

鳥インフルエンザ (H7N9) について (厚生労働省)

[http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/infuleenza/h7n9.html](http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/infuleenza/h7n9.html)

中国国家衛生計画生育委員会

<http://www.nhfpc.gov.cn>

香港衛生署衛生防護センター

[http://www.chp.gov.hk/en/guideline1\\_year/29/134/332.html](http://www.chp.gov.hk/en/guideline1_year/29/134/332.html)

マカオ特別行政区政府衛生局

<http://www.ssm.gov.mo/portal/>

WHO : Avian influenza A(H7N9) virus

[http://www.who.int/influenza/human\\_animal\\_interface/influenza\\_h7n9/en/](http://www.who.int/influenza/human_animal_interface/influenza_h7n9/en/)

(問い合わせ窓口)

○外務省領事サービスセンター

住所：東京都千代田区霞が関 2-2-1

電話：（代表）03-3580-3311（内線）2902, 2903

(外務省関連課室連絡先)

○外務省領事局政策課（海外医療情報）

電話：（代表）03-3580-3311（内線）5367

○外務省海外安全ホームページ

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>（PC版）

<http://www.anzen.mofa.go.jp/sp/index.html>（スマートフォン版）

<http://m.anzen.mofa.go.jp/mbtop.asp>（モバイル版）

○在瀋陽日本国総領事館

（管轄地域：遼寧省（大連市を除く），吉林省，黒龍江省）

住所：瀋陽市和平区十四緯路 50 号

電話：（市外局番 024）-2322-7490

国外からは（国番号 86）-24-2322-7490

ホームページ：<http://www.shenyang.cn.emb-japan.go.jp/>